

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227  
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781  
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成19年11月 (2007年) No.503

## 大阪アマチュア映像祭も満員盛況 上映環境向上も観客動員増の要因か 図書館側の人も驚く観客数の多さと明るい上映会で好評

去る11月4日(日曜日)開催された大阪市立中央図書館での第11回大阪アマチュア映像祭は会場一杯の大入り満員で、まことにうれしい限りでした。前月のOMC映像フェスティバルの時もそうでしたが、いろいろと観客に聞いてみますと、過去発表してきた作品レベルに一定の評価をして頂いて映写会を心待ちにして来て頂いていることが伺えるのですが、芳名簿を整理していますと、新規入場者が50～60名もいらっしゃることに驚きでした。今年のプログラムには、アマチュアとしては日本一明るいプロジェクターでしかも大半がハイビジョン作品発表、というプログラムでのPRが効果を発揮したのではないかと、ということと、OMC発表会の実績を口コミで知って大阪アマチュア映像祭へ足を運んで頂いたのではないかと、そんな気がします。勿論、作品の内容が良くないと次回からの動員に支障を来たします。図書館の係の人も盛況に驚いておられましたし、最後まで立見席でご覧いただいた係の方もおられました。共催の図書館さん側も、心強く思って頂いたことと思います。いずれにしても公開映写会の上映環境は作品内容共々、日本一ではないかと自負しております。これから新たなる一年、次年度も立派な発表会を催したいものです。

■予告：1月例会と総会を14日(月曜祭日)13時より開催、17時15分より5階のスーパードライ阪神にて新年会を開催します。どうぞご予定を。出欠ハガキを来月分例会案内に同封しますので年内に投函してください。

### 11月例会のお知らせ

11月例会は第4土曜24日午後6時から、難波市民学習センター(JR難波駅上OCATビル4階)で開催します。しのぎ易い晩秋の季節、撮影に編集に今頃大いに取り組んでおられることでしょうか。どうかその成果を例会で見せてください。なお恒例の年度賞候補作品はこの11月例会作品までの中より選考します。皆様のお越しをお待ちします。

■予告：世話役会は12月例会日22日の15時より開催しますのでどうぞご予定を。

■予告：幹事会を同上日の13時より開催しますので予定しておいてください。

## 例会にフルハイビジョン対応の プロジェクターが登場

先月号に新しいプロジェクターが使えることになって、その明るさに圧倒された旨掲載されましたが、ご提供の黒田先生が今度パナソニックからフルハイビジョン対応の新しいプロジェクターが出たので、ということで、発売前に入手され、早速例会にお持ちいただきました。TH-AE型という1,500ルーメンだそうで、発表会用としては明るさが落ちますが、例会用としては、まことにぴったしで、HDV作品の鮮明で明るい映像はさすがでした。大きさも小型でホームプロジェクターとしては最高のものだと思います。OVCと共用ということで使わせていただきます。黒田先生どうも有難うございました。拍手！

## オーロラ映像化の

### 苦心談を読む

合原

今年の東京アマチュア映像祭の入賞作に埼玉の筒井俊明さんの「遙かなる思い」という作品が江戸博ホールで上映され、オーロラの明るい美しい映像に見とれました。

その後、作者の記した苦労話を読み、成る程それなりの対策と工夫があったのだなと感じ入りました。まず、アマチュアのビデオカメラでは暗すぎて撮れないとのこと。デジカメで撮影した静止画をビデオのフレームとして動画化することもやられたそうですが、色彩がポジフィルムにはかなわず、今回はフィルムISO感度800、1コマ20秒露出で約1300コマ撮影、パソコンにキャプチャー編集。ビデオは1秒30コマですが、スチールの1コマを15から30フレームでタイムラインで編集、オーバーラップにそれなりの工夫をされたそうです。編集ソフトはアドビプレミア・プロを使用したが、特殊効果はファイナルカット・プロの方がよい（私にはよく判りませんが）とのこと。

撮影では家庭用カメラではマイナス30

度を超える撮影では徹底した防寒対策が必要で暖めるため木炭カイロをカメラに密着させ、カメラ本体はフリーズなど嚴重に包まれた由。それでも液晶画面が凍結したり、オートフォーカスが利かなくなったり、レンズリングが動かなくなった事がしばしば発生、また三脚は可動部の油脂を丁寧に拭き取っても、寒さで動かなくなるとか。一方、まずは人間の方の防寒対策が大切だったと。それにしてもマイサス30度の厳寒のアラスカに撮影に行く、若い内はとにかく、私には別世界のように思いました。

## 10月例会レポート

暑さが続いた今夏でしたが、さすが10月例会の27日ともなると秋来るの感じ。行楽、文化、運動の秋、撮影テーマは色々ありますね。今月は作品内容も良い作品がたくさん集まり、最新型フルハイビジョン投影機で心ゆくまで楽しむことができました。やはりプロジェクターがよいと作品も良く見えます。改めて黒田会員に感謝。

司会：合原氏、書記：岡本氏、機材：増池、江村、河合の3氏、受付兼照明係：宮崎、渡辺の両氏で会を進行しました。

■出席者：有村、天草、井上、江村、岡本、奥、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、田中、西井、錦、西村、華岡、藤原、増池、松本、前田、森口、森、森田、宮崎、安居、吉岡、山本、渡辺の29氏と見学者1名。

作品は17本が上映されました。

■上映作品（今月の講評は岡本さんです）

### 1. 大阪のあかり

増池 茂さん

10分

大阪のたそがれどき～夜景を集めて編集されたもの。作者曰く4、5年分だとか、まあよく集められたものです。四天王寺から南港、舞島、新世界、住吉大社、中の島、天保山、さては御堂筋パレードまで出てきますが、ただつなぎ合わせただけの感が否めません。「大阪のあかり」をテーマにするならば、もう少し整理をした方がよくなるのではないのでしょうか。BGMが一本調子という意見もでました。たそがれどきの映像は最初にワンカットみせてあとは外し

た方がよいと思います。いずれにしてもカットがたくさんあるので再編集期待しています。

## 2. 水神の聖地・室生 (ワイド)

森口正吉さん 9分40秒

奈良県室生寺の前から室生川に沿って約1キロさかのぼった溪谷の入口にある龍穴神社、その奥の峡谷の流れに面して雨や雲を支配する龍王が住むという龍穴がある。また、杉の巨木が林立し、道路沿いに「龍穴杉」と呼ばれる巨杉がある。山中には屏風状の岸壁がそそりたつ、龍穴信仰の影響を受け、龍王社と呼ばれているようだ。

この日はちょうど秋祭りがおこなわれていた。笛と太鼓の音にあわせてしし舞のめずらしい踊りを紹介しています。水の神を崇め、五穀豊饒を願う素朴な村祭りを拝見させていただきました。

## 3. 仙台すずめ踊り (HDV)

天草 稔さん 7分56秒

10月に行われました、堺まつりの中で舞台演舞「仙台すずめ踊り」を撮影されました。堺と仙台は交流があるらしく仙台からこられて踊られたようです。スズメがエサをついばむ様子を表現されていました。これらをテロップかナレーションでいれられたら分かりやすかったと思いました。

## 4. 堺まつり (HDV)

奥 宏さん 9分32秒

毎年10月に行われている「堺まつり」を撮影されました。今年で34回目になるそうです。前夜祭の神輿の曳航からはじまります。そして当日のパレードを撮影されました。イベントの撮影は、記録として残すのか、作品とするのかによって撮影のしかたがわかれます。この映像は記録として撮影されたと思いますが、「堺まつり」とはどういうお祭りなのかテロップかナレーションで説明がほしいところです。

## 5. 遠野ふるさと村 (HDV)

紙本 勝さん 5分

初めてのハイビジョン作品をもってこられました。岩手県遠野市にある遠野ふるさと村を取材されました。遠野の昔ながらの山里を再現した施設です。L字型の家を曲がり家といって、人間の住む母屋と馬小屋

を直角にした映像がでます。屋根は茅葺きで、周りを土塀でめぐらし、柱や貫だけを露出しています。日本の原風景をみせていただきました。BGMが姫神の「遠野物語」だが映像とあわないではないかという意見がありました。

## 6. その2 氷河の上で (HDV)

関 剛さん 6分50秒

前作につづいてカナディアンロッキーの国立公園、今回はコロンビア大氷原のアサバスカ氷河です。観光客を乗せて氷河に行くバス、すごい迫力です。このまま谷底に落ちてしまいそうな映像です。カメラに三脚につけて窓から突き出して撮られたとか奈良の大仏殿をこの氷河に重ね合わせてみたらというおもしろい発想もありました。すばらしい映像よかったです。

## 7. SLやまぐち号 (HDV)

山口さちよさん 13分45秒

前作(試作)を改作されて、鹿児島県から作品のみの出品です。大変よくなりました。おそらく何回も通われて撮られたのでしょう迫力があります。前作の書記さんも書かれています、トンネルから出て走ってくる前からのカットいいですね。すばらしいカットたくさんあります。SLファンはたまらない映像でしょう。ただもう少し余分なカットは減らしたほうがよくなるでしょう。

## 8. 緑葉に囲まれて 上高地 (HDV)

有村 博さん 6分52秒

いつもいつもすばらしい山岳映像をみせていただきます。今回は7月下旬にいかれました。上高地は初夏の風情を醸し出しています。カッパ橋から明神池の散策。前方には明神岳が聳えています。あざやかな緑に包まれた上高地堪能させていただきました。

## 9. よさこい春の舞 (HDV)

江村一郎 6分30秒

よさこい作家、江村作品。今回は夏ではなく3月初旬に撮影されたもの。南国高知は3月はじめといえども春真っ盛りといった雰囲気。踊り子や観客の様子から伺えます。踊り子の衣装や振り付けからまさに妖艶よさこいといったところでしょうか。い

つもとちがった江村流映像みせていただきました。

#### 10. 秘法火生三昧 (HDV)

河合源七郎 11分38秒

伊勢長島町、有久寺に伝わる火渡り神事を撮影されました。山伏の水行からはじまります。そして山伏問答、法弓作法、斧の作法、宝剣の作法とつづき、大護魔が焚かれます。焚かれた後、残り火の上を民衆が素足で渡ります。汚れをとり病気を平癒し無病息災を願うという神事だそうです。迫力ありました。

#### 11. 宵山のにぎわい (HDV)

進藤信男さん 7分59秒

京都祇園まつりの宵山を撮影されました。祇園まつりの起源から解説をされながら長鉾の組み立てからひきはじめ、提灯が灯る祇園茶屋町筋、あいにくの雨にもかかわらず大勢の賑わいをみせています。

なかなかよく調べられてつくられました。

#### 12. 神戸ジャズストリート (HDV)

井上勝彦さん 9分52秒

第26回目になるという神戸ジャズストリートを取材されました。グーグルアースによる神戸の案内からはじまります。阪急三宮の各会場でくりひろげられるジャズコンサート、作者お得意のスタビライダー撮影で、ジャズの音色と奥さんの名調子ナレーションにのせて神戸を紹介されています。神戸はやはりジャズが似合う街。楽しく拝見しました。

#### 13. 雨の中の萬灯籠 (HDV)

吉岡貞夫 10分31秒

7月に行われた、西宮えびす神社の萬灯神事を撮影されました。あいにくの雨の中4000個のガラスコップに灯が灯されます。神事後、屋内での舞楽奉納を撮られました。雨の中ご苦労様でした。

#### 14. 余部に五月のが吹きぬけて (HDV)

前田茂夫 9分20秒

作者の余部にかける熱意が伝わります。月に2~3回訪れるという作者。もう何作拝見させていただいたでしょうか。余部に行ったことのない私にとって余部の住民になったような気がします。余部の住民にとつ

ては、鉄橋を渡る列車の汽笛、きしむ音が心地よいBGMに聞こえているのだろう。

前作の「怒涛・余部」と違って変わって穏やかに海岸に打ち寄せる波、陽光ふりそそぐ五月の心地よい余部、新緑の空に新鮮な空気をおなかいっぱいにしておよぐこいのぼり、黄色い菜の花の向こうに鉄橋をわたる列車。まるで都会の喧噪を忘れて呆然と立ちすくむ自分を想像します。ありがとうございます。

#### 15. 御陣乗太鼓 (HDV)

西井学さん 4分00秒

能登半島輪島の伝統芸能「後陣乗太鼓」を撮影されました。場所は浜辺、篝火が焚かれて、お面をかぶった数人の人たちがいれかわり立ち代わり打ち鳴らす様は大変迫力がありました。ナレーションの音をもう少し上げた方がよかったです。

#### 16. 奇岩 (HDV)

渡辺雄史 6分12秒

ベトナムの首都ハノイのハロン湾をクルーズされた記録映像です。波に侵食された岩峰に突出するハロン湾は、1994年に世界遺産に登録された。広い湾に無数の石灰岩の島が浮かぶ。「空から舞降りた竜が、敵の進攻を防ぐために口から玉を噴出し、その玉が大小の岩に姿を変えた」という伝説が、作り話ではないような気にさせられるほどだ。悠久の自然がもたらした風光明媚な光景をみせていただきました。

#### 17. 消えた海 (HDV)

山本正夢さん 6分30秒

アラル海に旅された作品。不毛地をアラル海にそそぐ水を利用し農地に変えた為異変が起きた。海は100キロ彼方に後退し世界4位が18位に面積は1/3になったという。塩水濃度は6倍以上になり、魚は死滅し、漁業は壊滅状態に。捨てられた廃船が物語っています。住民は放牧と綿花で細々とくらしているそうです。この作品は自然を破戒すれば災害が待っているということを如実に表現されました。

#### 18. よさこい (HDV)

森田光春さん 10分00秒

時間ぎれの為、次回例会で上映になりました。